

保健室コンピュータ活用グループ研究会

グループ員：松田 弥生 (伊丹小学校) 片山 美奈 (昆陽里小学校)
中谷 孝子 (緑丘小学校) 大西 郁美 (鴻池小学校)
篠崎 葉子 (瑞穂小学校) 田中 淑子 (北中学校)
升井 嘉澄 (花里小学校)

担当指導主事：増田 朋之

キーワード：保健室 表計算ソフトの活用 データ管理 保健指導 健康管理

1 研究テーマ

「保健室におけるコンピュータの活用について」

2 研究内容

これまでに引き続き、コンピュータ(表計算ソフト)を活用して、保健に関する事務処理を行うことにより、保健室の来室児童生徒にゆとりを持って関わる時間の確保及びデータの効率的な活用に取り組んでいる。

今年度も総合教育センター情報化推進員の協力のもと、保健調査・定期健康診断の結果から、速やかに児童生徒の発育および健康状態を把握できるように、集計シート等のバージョンアップを行った。

また、ラベルレイアウト作成の操作手順の研修も行った。

今年度の研究内容は以下のとおりである。(図1)

- (1) アレルギー進級マスターの作業の仕方を習得した。
- (2) 学校保健統計調査の疾病集計表に、運動器健診の項目など新たに加えた。(図1)
- (3) 健診結果管理ファイルの不具合の修正をした。
- (4) 目的の内容を入力すると、複数のラベルが作成できる操作手順を習得した。(図2)
- (5) 「アレルギーデータ進級処理」「成長学会データ取り込み処理」の改善について研修した。

科	人数
栄養不良	1
肥満傾向	5
脊柱・胸部・四肢	0
脊柱異常有	0
胸部異常有	0
四肢関節異常	0
心臓E可	4
心臓E禁	0

(図2)

3 成果と課題

(1) 成果

- ① 児童生徒の健康管理上の情報(アレルギー・既往歴等)は、現在の健診管理シートを活用した形で経年管理できるようになったことから、年度初めの入力時間が大幅に削減できた。
- ② 昨年度取り組んだ「定期健康診断結果のお知らせ」を使用することで、治療勧告対象者だけではなく、全校生に健康診断結果として、家庭通知することができた。

番号: 1 氏名: 伊丹 太郎 学校名: 伊丹小学校 【コメント欄】	番号: 2 氏名: 伊丹 花子 学校名: 伊丹小学校 【コメント欄】
番号: 3 氏名: 稲野 太郎 学校名: 稲野小学校 【コメント欄】	番号: 4 氏名: 稲野 花子 学校名: 稲野小学校 【コメント欄】
番号: 5 氏名: 南 太郎 学校名: 南小学校	番号: 6 氏名: 南 花子 学校名: 南小学校

(2) 課題

- ① 他校でも活用できるよう、マニュアルを作成していく必要がある。
- ② 各校の実態に応じて、健診結果管理ファイルの結果を保健指導につなげ、児童生徒の健康管理を進めていく必要がある。また、今後スズキ校務とリンクできるように研修していきたい。
- ③ 自校で「ほけん室のシステム」を使いこなせるスキルを身に付けていく必要がある。

番号	氏名	小学校
1	伊丹 太郎	伊丹小学校
2	伊丹 花子	伊丹小学校
3	稲野 太郎	稲野小学校
4	稲野 花子	稲野小学校
5	南 太郎	南小学校